

## 実践衛生薬学

責任者・コーディネーター	衛生化学分野 杉山 晶規 准教授		
担当講座・学科(分野)	衛生化学分野、薬剤治療学分野、衛生学公衆衛生学講座		
対象学年	4	区分・時間数	講義 18時間
期間	後期		
単位数	1単位		

### ・学習方針（講義概要等）

衛生薬学は応用分野の学問であり、薬剤師の実務においても学校薬剤師や保健所などの業務では重要な領域となっている。本講義では2、3学年で学んだ衛生薬学分野の科目の応用編として、現場に即した内容を講義する。

### ・教育成果（アウトカム）

これまでの衛生関連科目で学んだ内容を再確認し、併せてそれらが薬剤師の実務においてどのように応用されているかを把握することにより、地域や学校における公衆衛生の向上に貢献できるようになる。  
(ディプロマ・ポリシー：3,4,7,9)

### ・到達目標（SBO）

1. 医療現場における疫学の応用について、例を挙げて説明できる。(☆)
2. 食中毒の発生原因と予防方法について説明できる。(☆)
3. 代表的な食品汚染物質や乱用薬物とそれらの試験法について説明できる。(☆)
4. 代表的な食品成分や食品添加物とそれらの試験法について説明できる。(☆)
5. 食事摂取基準を理解し、その活用法と栄養管理指導について説明できる。(☆)
6. 地域や学校における良好な水環境の維持及び改善の概要について、説明できる。(☆)
7. 地域や学校における良好な空気環境の維持及び改善の概要について、説明できる。(☆)
8. 感染性廃棄物とその取り扱い及び廃棄の方法について説明できる。(☆)
9. 公衆衛生における感染症予防の概要を説明できる。(☆)
10. 疾病治療における栄養の重要性を説明できる。

### ・講義日程

(矢) 東 104 1-D 講義室

月日	曜日	時限	講座・分野	担当教員	講義内容/到達目標
8/29	水	1	衛生化学分野	名取 泰博 非常勤講師	概論, 疫学 1. 疫学の研究方法を列挙し、それぞれの特徴を説明できる。 2. 疫学におけるバイアスと交絡について、具体例を挙げて説明し、その主な制御法を概説できる。

8/29	水	2	衛生化学分野	杉山 晶規 准教授	食事摂取基準と栄養管理 1. 食事摂取基準を理解し、その活用法と栄養管理指導について説明できる。
9/5	水	1	衛生化学分野	杉山 晶規 准教授	食中毒 1. 食中毒の発生原因と予防方法について説明できる。
9/5	水	2	衛生学公衆衛生学講座	丹野 高三 准教授	コホート研究など疫学研究の実際 1. 大規模な疫学研究の実例とそこから得られる知見を知ることにより、疫学の有用性について、例を挙げて説明できる。
9/12	水	1	衛生化学分野	名取 泰博 非常勤講師	感染症（検疫感染症, 予防接種など）と生活習慣病 1. 感染症及び生活習慣病を概説し、最近特に問題となっている疾患について具体例を挙げて説明できる
9/12	水	2	衛生化学分野	千葉 寛 非常勤講師	保健所の薬剤師業務における衛生薬学 1. 食中毒などの食品衛生管理や水質検査など公衆衛生管理に関わる保健所の業務や役割について説明できる。
9/19	水	1	衛生化学分野	杉山 晶規 准教授	食品汚染物質と乱用薬物 1. 疾病治療における栄養重要性を説明できる。
9/19	水	2	薬剤治療学分野	三部 篤 教授	栄養療法と薬物治療 1. 食事摂取基準を理解し、その活用法と栄養管理指導について説明できる。
9/26	水	2	衛生化学分野	米澤 正 助教	飲食物試験法 1. 食品成分の変質機構とその試験法について説明できる。
10/3	水	1	薬剤治療学分野	手塚 優 助教	学校薬剤師の業務 1. 学校薬剤師の業務の概要を説明できる（保健衛生）。 2. 学校における良好な水環境や空気環境の維持及び改善の概要について、説明できる（環境衛生）。
10/3	水	2	衛生化学分野	川崎 靖 助教	環境衛生(1) (水環境) 1. 水道水の原水の種類、水の浄化法、水質基準について、特徴を説明できる。

					2. 下水処理及び廃水処理の主な方法について説明できる。 3. 水質汚濁及び富栄養化の原因を挙げ、対策を説明できる。
10/10	水	2	衛生化学分野	名取 泰博 非常勤講師	環境衛生(2) (空気環境, 感染性廃棄物) 1. ヒトの健康に及ぼす大気環境及び室内環境について、具体例を挙げて説明できる。 2. 感染性廃棄物の取り扱いについて具体例を挙げて説明できる。

・教科書・参考書等 (教：教科書 参：参考書 推：推薦図書)

	書籍名	著者名	発行所	発行年
教	衛生化学詳解(上、下)	浅野 哲 他	京都廣川書店	2014
参	必携・衛生試験法	日本薬学会 編	金原出版	2011

・成績評価方法

定期試験(100%)から評価する。

・特記事項・その他

講義時に配布するプリント、宿題、教科書などを用いて復習をして下さい。提出された宿題プリントは、添削・採点して返却し、解説を行う。宿題プリントには、講義に関する学生の要望の記入欄を適宜設け、要望を講義に反映する。授業に対する事前学修(予習・復習)の時間は最低30分を要する。